

小平中央リハビリテーション病院 コロナ禍での臨床実習生受け入れマニュアル

1. はじめに

当院では 2021 年度より感染対策を実施しつつ実習生の受入れを開始することとします。
以下に受け入れ基準や方法を挙げます。

2. リハビリテーション科全体の受け入れマニュアル（学生さん向け）

- ① 医療職、または医療志願者であるという高い意識をもった行動に努めましょう。
- ② 実習 2 週間前から 3 密を避け不要不急の外出は控えてください。
- ③ 実習 2 週間前から【**体調管理シート**】(学校指定)を記録し実習初日に提出してください。
- ④ 実習中も検温は毎日行い、体調管理に努めて下さい。少しでも感冒症状がある場合は、大事を取りお休みとします。
- ⑤ 【院内での行動記録表】を毎日記入し、バイザーに報告してください。関わった患者様・スタッフがわかるように記入してください。
- ⑥ 当院への通勤時（公共交通機関利用時）～帰宅まで（更衣室を含め）、常にマスク（なるべく不織布マスク）を着用してください。
- ⑦ 昼食時は、他者と距離をとり、会話はしないでください。食事場所はこちらから指定します。
- ⑧ 以下の事態になったときは実習を中断、中止する可能性があります。
 - ・実習生がコロナウイルスに感染（5 日間出勤停止）
 - ・実習生がコロナウイルス感染者との濃厚接触者と認定されたとき（最終暴露日から 1 日目までは出勤停止）
 - ・実習の継続により、感染の危険性を回避できないと予測されるとき
- ⑨ コロナウイルス陽性者や濃厚接触者に対しての治療介入をしています。実習生についても陽性者がいる病棟の出入りを可とします。
実習生については、陽性者・濃厚接触者の治療同行は中止となります。
実習生のコロナウイルス発生中の病棟の出入りに関しては、養成校の方針と実習生に一任します。

3. コロナ禍での実習受け入れに関する取り決め（主にスタッフ向け）

- ① 「2. リハビリテーション科全体の受け入れマニュアル（学生さん向け）」を掲げ実習生を受け入れる以上、我々セラピスト模範となりましょう。普段の生活から感染管理を常に意識し生活しましょう。
- ② 全学生さんに対し、実習初日にリハビリテーション科所属長（又は、役職者）が感染管理マニュアルを 20 分間で説明する機会を持つ。
- ③ 学生さんの体調と【院内での行動記録表】を毎日チェックし、少しでも感冒症状がある時は休ませるよう配慮する。
- ④ フィードバックは短時間で距離を取って行う。（週 45 時間ルールに則る。）
- ⑤ フィードバック時は、第二会議室や第二リハ室、当直室、第 2 診察室を使用する。→ミーティングとフィードバックは同室で可能。
- ⑥ コロナ対応中（陽性者・濃厚接触者）の患者様の学生見学は行わないが、病棟の出入りは可能。
- ⑦ 家屋評価の見学は人数制限に合わせて同行する場面もあります。
- ⑧ 学生さんの行動範囲は、基本的に担当スタッフに準ずる。
- ⑨ 実習地訪問は現地開催・ZOOM 等の使用を踏まえ、状況に合わせ実施します。
- ⑩ 消毒液は学生用を持ち歩き、実習中はロッカー管理とする。
- ⑪ 原則学生の昼食は、12 時から 12 時 30 分の間に密にならないように、食堂または第 2 リハビリ室でとり、黙食とする。12 時 30 分から 13 時 30 分は第 2 リハビリ室で自習・休憩とする。

4. おわりに

感染管理を徹底し、学生さんにもリハスタッフにも、患者様にもメリットとなるような臨床の場・臨床教育の場を作っていきましょう。

2026 年 9 月 1 日改訂